

受賞・表彰のご紹介

2025年山陰中央新報社地域開発賞

令和7年10月29日に松江市のホテル一畑にて2025年山陰中央新報社地域開発賞の授賞式が行われ、徳田久志さんが農林畜水産部門で受賞されました。

地域開発賞はスポーツ、文化、教育、産業(2部門)、社会の5賞を設けており、行政機関や諸団体から推薦された候補者を、山陰中央新報社から委嘱された社外選考委員が厳正かつ慎重に審査し、受賞者を決め、島根県内各分野での功績をたたえ、一層の活躍を願って表彰します。

隠岐の天然ワカメの加工を再興した徳田さんは、「賞を励みに、次代にワカメ産業をつなげていきたい」と決意表明されました。



第38回山陰地域文化賞



記念撮影に臨む下廣幸将代表(右から2人目)

令和7年11月12日に鳥取県米子市のANAクラウンプラザホテル米子にて山陰の地域、文化振興に貢献した団体、個人をたたえる「第38回山陰地域文化賞」の表彰式があり、知夫村青年団(下廣幸将代表)が受賞されました。

知夫村で、失われた青年団活動の復活に若者が一丸となって取り組んでいる下廣代表は「地域に根付いた活動を続け、世代を超えた交流の場を築く」と意気込みました。



エイジレス・ライフ エイジレス章

内閣府によるエイジレス・ライフ(年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きと生活を送ること)を実践している高齢者に山 穂さんが選ばれ、令和7年11月14日に役場にて受章式が行われました。

山さんは、40年あまり知夫郵便局に勤めながら、村の文化に関わる見聞きしたことを発信したいとの思いで20年以上執筆活動を行い、知夫村郷土資料館運営委員や知夫村文化財保護審議会委員長に就任しました。会長退任後も村回覧ミニコミ誌の執筆等にも精力的に活動しております。

